



富鳥防協第 13号
平成23年12月19日

社団法人 日本山岳協会 会長 殿

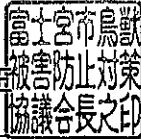
富士宮市鳥獣被害防止対策協議会

会長 芦澤 正

静岡森林管理署

署長 坂元 邦夫

静岡県農林技術研究所森林・林業研究センター長 堀 進



富士山国有林における新たな捕獲手法（誘引捕獲）によるニホンジカの捕獲実施について

日頃より野生生物保護の管理・運営におきましては、ご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、富士宮市、静岡森林管理署、静岡県農林技術研究所森林・林業技術センターなどで構成する「富士宮市鳥獣被害防止対策協議会」（別紙参照）では、「ニホンジカとの共存に向けた生息環境等整備モデル事業」により、「学識経験者」を含む検討委員会の指導により、富士山麓周辺に生息しているニホンジカの被害対策として、平成22年度から、①ニホンジカの生息状況等調査、②ニホンジカの被害状況調査（森林の剥皮被害など）、③ニホンジカとの共存に向けた対策（シカ侵入防止柵など）を実施してきました。

本年度は、ニホンジカを効果的に捕獲する方法を検討するため、新たな捕獲手法（誘引捕獲）を下記のとおり富士山国有林内で試行的に実施することといたします。

つきましては、新たな捕獲手法（誘引捕獲）を試行するに際し、安全かつ適正な実施に万全を期するため、下記の期間中、捕獲場所への立ち入りを行わないよう貴管下職員・関係者への周知をお願いいたします。

また、捕獲場所周辺で作業や行事等を計画されている場合には、事前調整のため下記の連絡先までご連絡頂きますよう併せてお願いいたします。

記

実施期間：平成24年1月14日（土）、15日（日）、21日（土）、22日（日）
28日（土）、29日（日）
2月4日（土）、5日（日）、11日（土）、12日（日）
の計10日間（予備日含む）

捕獲場所：静岡県富士宮市北山7426-1外（富士山国有林内）
※詳細は、別図の範囲

（連絡先）
静岡森林管理署
担当：署長（坂元）、次長（吉澤）、業務課長（寺田）
〒422-8026
静岡市葵区駿府町1-120
TEL：054-254-3401
FAX：054-253-7829

富士山国有林内における新たな捕獲手法（誘引捕獲）の実施について（案）

■実施内容

富士宮市鳥獣被害防止対策協議会による平成23年度ニホンジカとの共存に向けた生息環境等整備モデル事業の一環として、富士山国有林西部一円において、新たな捕獲手法を検討するために試験捕獲を実施する。

■実施期間

平成24年1月14日（土）、15日（日）、21日（土）、22日（日）、28日（土）、29日（日）
2月4日（土）、5日（日）、11日（土）、12日（日）の計10日間
（予備日含む）

■実施場所

事前に安全性の確保（安土の存在等）が確認された場所を中心とした林道沿いとする（別添図参照）。

■方法

（1）定点捕獲

あらかじめ定めた地点に餌（乾燥干し草等）を撒き、給餌場に誘引されたニホンジカをライフル銃により捕獲する。移動には車両を用いる。

なお、ニホンジカに対しライフル銃の発射音に慣れさせるために、爆音機を使用する予定。

捕獲体制

◇人員 計5名

- ・射手1名
- ・運転手1名
- ・記録者1名
- ・捕獲個体処理者2名

◇車両 計2台

- ・射撃車両1台
- ・捕獲個体処理車両1台

（2）流し猟式捕獲

林道を車両で走行しながら、定点以外の所定の林道沿いにおいて出没するニホンジカを

発見後、車両を停止させてからライフル銃により捕獲する。

捕獲体制

定点捕獲と同じ

(3) 安全確保の体制

◇注意標識の設置

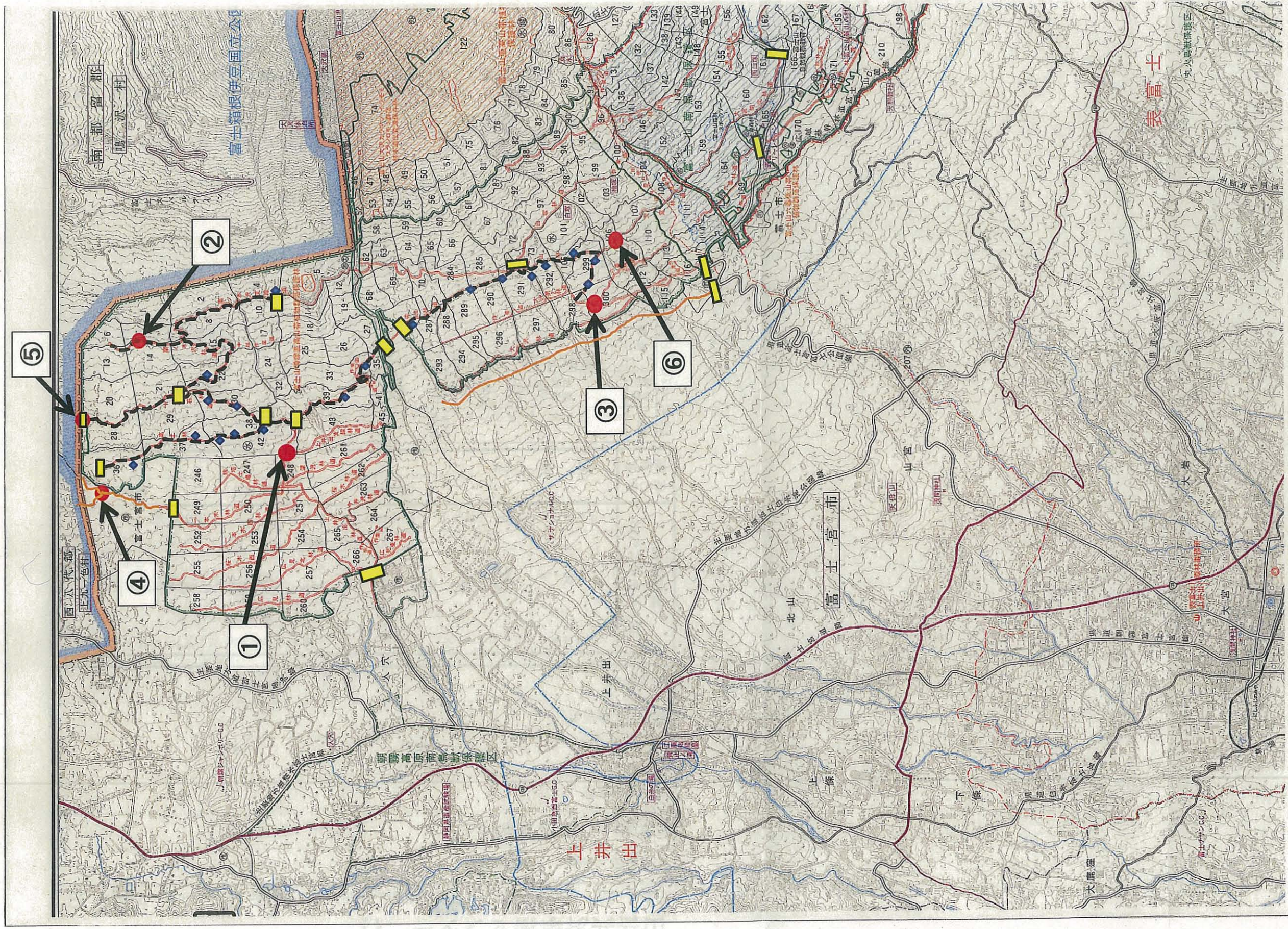
捕獲実施場所の出入り口となる林道ゲートまたは分岐地点に実施場所、実施日を記載した注意標識を設置する。

◇監視者の配置

捕獲実施場所の出入り口となる林道ゲートまたは分岐地点に最低 1 名、合計 6 名以上の監視者を配置し、進入しようとする者を確認した場合、実施内容を説明し、安全確保を図る。

(4) 捕獲個体の処理

捕獲個体処理車両が回収した個体は、静岡県森林・林業研究センターがニホンジカの保護管理上必要な部位を採取した後、所定の場所に埋設する。



新たな捕獲手法（誘引捕獲）実施予定区域（案）

- 国有林の区域
- 実施予定林道(栗ノ木沢林道、栗ノ木沢支線林道、十万石林道、高士林道、上井出林道、上井出林道、北山林道)
- ◆ 定点捕獲予定箇所
- 見張り人設定箇所
- 看板設置箇所